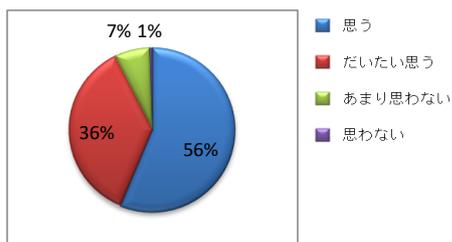


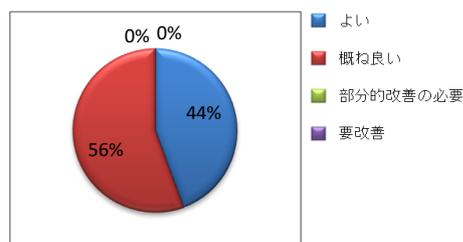
## R07 学校自己評価(2学期・全校児童・職員)

### 【学校満足度】

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



(1) 子どもたちが楽しく学校生活が送れるよう様々な面で配慮をしていますか。(職員)

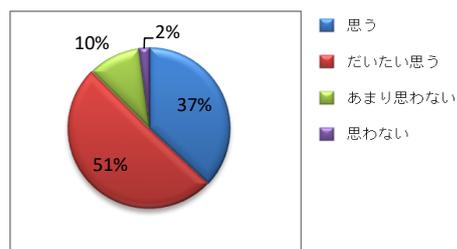


#### 《考察》

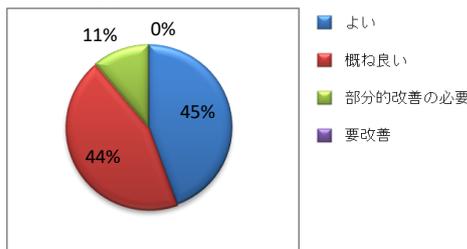
前回の調査と大きくは変わらない結果であるが、「楽しくない」が微減し「あまり楽しくない」が微増した。わずかながらも、よい方向への移行であるといえる。引き続き、子どもたちにとって楽しく、居心地のいい学校づくりを進めていきたい。

### 【かしくく】

(2) 学校の勉強はわかりやすいですか。(児童)



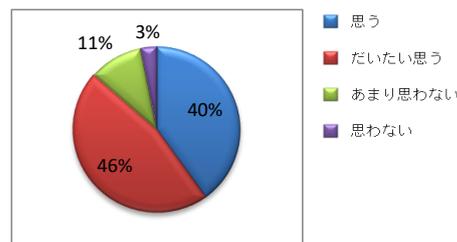
(2) めあてややることをはっきりと提示し、子どもたちにとってわかりやすい授業になるよう工夫や努力をしていますか。(職員)



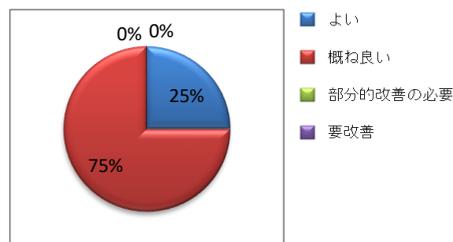
#### 《考察》

こちらは(1)とは逆に、やや下方への移行が見られる。前々回から、2期続けて、「授業がわかりやすい」と感じている子の割合が減少し、「わかりにくい」「わからない」と回答した子の割合が増加した。同様に職員からも、改善の必要を感じる声が上がっている。「わかった」「できた」が、子どもたちにとって実感できるような更なる工夫を進めたい。

(3) 「みたい」「しりたい」「たしかめたい」などの、やってみたいことが、授業や学校生活の中でできましたか。(児童)



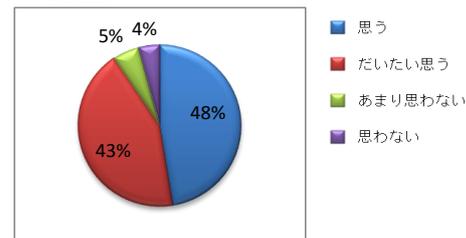
(3) 子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切に、単元構想や授業構想をしていますか。(職員)



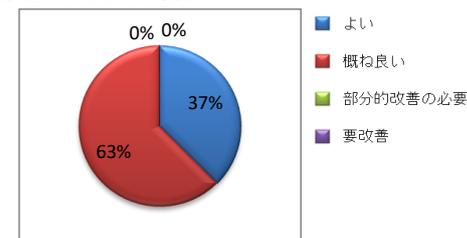
#### 《考察》

前回初めて設定した設問である。結果は前回とあまり変化はないが、多くの子が「自分のやってみたいことができた」という意識を持っている。学校行事や、総合的な学習をはじめ、諸教科における活動の中でも、子どもたちの「調べてみたい」「確かめてみたい」という気持ちを出発点にした学習展開を構築していきたい。

(4) 授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。(児童)



(4) 授業で、子どもたちが自分の考えをもち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

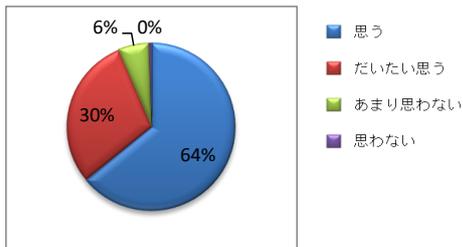


#### 《考察》

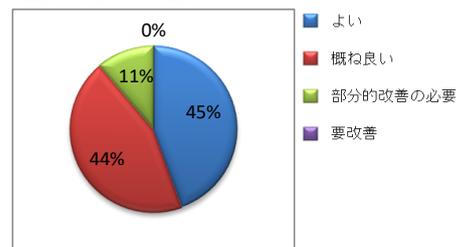
こちらも前回とほぼ同じ結果であるが、「だいたい思う」から「思う」へ2ポイント割合が移行している。いろいろな活動場面で、考えを出し合ったり、意見を取り交わしたりする場面の増加や、内容の充実が図られていると考えられる。引き続き、子どもたちの活発な話し合いがなされるよう支援していきたい。

## 【やさしく】

(5) こまったとき、先生は、あなたの話を聞いてくれますか？（児童）



(5) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにし、子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか？（職員）

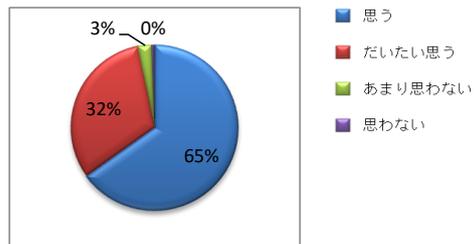


### 《考察》

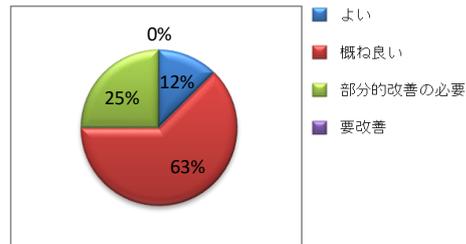
前回とほぼ同じ結果である。多くの子が抱えている「困ったときは先生が相談に乗ってくれる」という信頼を裏切らないよう、引き続き真摯に児童一人一人と向き合っていきたい。

## 【たくましく】

(6) 勉強や運動で、最後まであきらめずに、がんばっていますか？（児童）



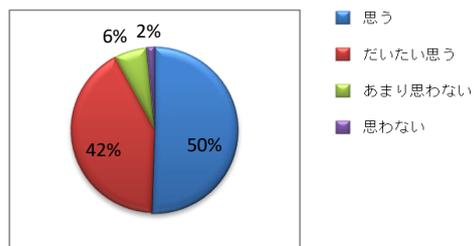
(6) 学習や運動で、子どもたちが最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか？（職員）



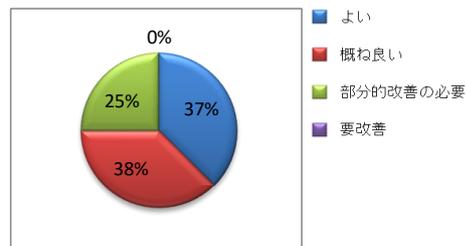
### 《考察》

多くの児童の回答は、「がんばっている」と非常に前向きなものが多いが、職員の意識は、自身の環境づくりや場の設定、支援体制も含めて、やや下方に移行している。「最後まであきらめない」というレベルや感覚に、児童とズレがあるのかもしれない。

(7) 進んで運動をして、元気な毎日をすごしていますか？（児童）



(7) 子どもたちが積極的に体を動かせるよう、動機付けや時間・場所の確保に努めていますか？（職員）

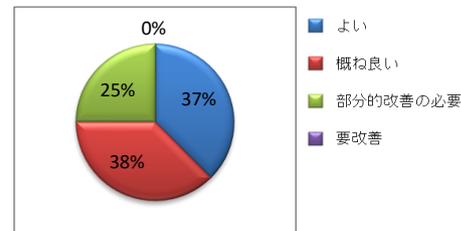


### 《考察》

こちらも(6)同様、児童の意識のレベルに対して、職員の感じ方がやや低い結果になった。体力テストの結果から課題を見出し、家庭とも連携しながら、児童が主体的に健康な体作りをしていけるような環境を整えていきたい。

## 【地域との連携】

(8) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか？（職員）



### 《考察》

一年の半分以上が過ぎ、多くの学年で地域の方々への支援をいただく活動を実施することができた。前回(6月実施)と比較すると、大きく「よい」が伸びている。その一方で、課題を感じたという職員も増えており、活動そのものや、いただく支援の内容について、今後さらに検討していく必要があると思われる。

## 【職員の声】

### 《育ってきている点や、伸びてきている点》

児童会をはじめとする様々な活動の中で、責任感や企画・運営する力が伸びてきているように感じる。
○学習規律が身についてきた ○お互いの気持ちを考え、よい行いに繋がる言葉を交わせるようになってきた。
以前体育で創作ダンスを行った。振り付けは全て子どもたちに任せて、自分たちで意見を出し合い、完成させることができた。子どもたちの力に驚いた。
・挨拶を交わす児童が多い。6年生としての自覚がでてきている。誰かが困っていると助けようと、行動してくれる。
やってみたいことを声に出して行動に移す姿
・今まで関わりのなかった友達(異学年も含む)と仲良くなり、声をかけ合って遊ぶ姿が多くみられるようになった。 ・その時間の課題を終えるまで集中して取り組めるようになってきた。
授業の終わりのふりかえりに、自分の感じたことや考えたことを具体的に書ける様子が見られます。学校目標の『かしこく』に関わって、自分で考えようとする姿勢に伸びを感じます。そうじのやりかたや手順の確認をしたところ、集中して取り組める子どもが増えてきている。ただし、その場の雰囲気流されて集中できない様子もあります。
上級生の下級生への声掛けなど、相手のことを考えている姿。

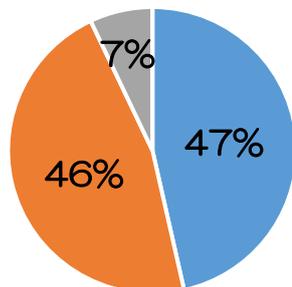
### 《改善したい点や、課題に思う点》

個々の判断力。小集団になった時に、ずるずると楽な方へ、いけないと知っていてもいけない方へ流れがちになる集団心理が気になる。
○授業中に練り消しなど、いつも何かをいじっていないと落ち着かない児童の対策と支援の在り方を相談したい。 ○授業後廊下の挨拶で、ひとこと「廊下を歩いていってください。」と伝えることを欠かさずにやれば。子どもたちの意識が向くような気がします。
話を聞く、ここが一番課題である。話を聞く習慣を付けるため、聞かないときは話を一度止めることを繰り返していきたい。
・時間に遅れても平気で、ルーズなところがある。馴れ合いもあり、家と学校の区別がない子がいる。・廊下や登下校中も走る子が多く、ケガもある。基本的に雑巾がけができない子どもたち、掃除ができない。
最後まで粘り強く取り組む姿勢
・職員が声をかけたり、挨拶当番に声をかけられたりすると挨拶ができることが多いが、自分から進んで挨拶できる子は少ない。
自分のそうじ分担をきれいにし、ケガや病気を予防できるような過ごし方を自分で気をつけるなど、大切なことを自分から進んでできる子どもにしたい。
最後まであきらめずに取り組む力が足りない子が多い。 あいさつができる子できない子の差がある。 廊下を走る姿がみられる。

## R07 学校自己評価 保護者アンケートのまとめ

塩田西小学校

### ① 子どもさんは喜んで登校していますか。(朝の様子などから)

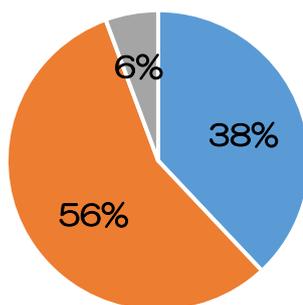


- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

93.0%の保護者の方に肯定的な評価をいただきました。お子さんが積極的に登校している様子がうかがえると、大半の保護者の方が感じられています。

「やってみたいから始める塩田西小」のスローガンのもと、引き続き、児童が学校生活を楽しいと感じられるように、教育活動を充実してまいります。

### ② 授業は、分かりやすく進められていると感じますか。(子どもさんの話から)



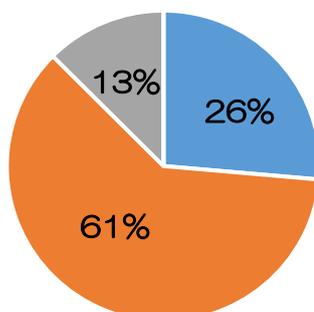
- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

昨年度同様、肯定的な評価が94.3%と非常に高い評価をいただきました。

お子さんからの話や参観日の授業の様子などから、授業内容が明快で理解しやすいものであると認識していただいています。

本校で大切にしている「授業のユニバーサルデザイン化(UD化)」の研究・研修を基盤に、より分かりやすく児童が主体的に取り組める授業を目指し、授業改善を図ってまいります。

### ③ 子どもさん自身の「やってみたい」ことが、家庭や学校生活の中でできていると感じますか。

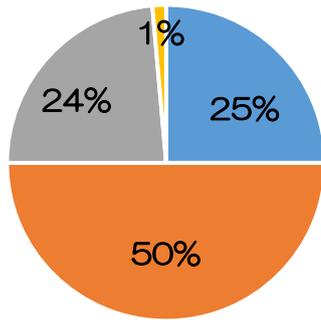


- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

肯定的な評価が88.8%と、学校と家庭が連携し、子どもの自主性や探求心を尊重する姿勢が評価されました。一方で、「あまり達成していない」が12.7%存在しており、子どもの主体性をさらに引き出すための機会創出が課題と言えます。

「やってみたい」と思ったことに挑戦し、試行錯誤する経験の積み重ねが成長へとつながります。学校では、これからも子どものつぶやきに耳を傾け、子どもたちの「やってみたい」を自分たちの力で実現できる機会を設けていきたいと考えています。

④ ご家庭で、子どもさんは進んで自分の考えを話したり、おうちの方の話すことをしっかり聞けたりしていると感じますか。

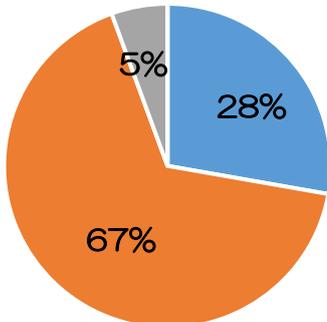


- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

肯定的評価は76.1%でした。「あまり達成していない」(23.9%)と「改善を要する」(1.4%)を合わせると、4分の1以上の保護者の方が課題を感じていることが分かりました。

この項目は、家庭内での状況を問うものですが、学校教育で育むべき自己表現力やコミュニケーション能力と関連が深いと考えます。子どもたちの話す力や聞く力をつけるための手だてを考えていく必要があると言えます。

⑤ 学級担任、あるいは学校の職員は、相談しやすいですか。

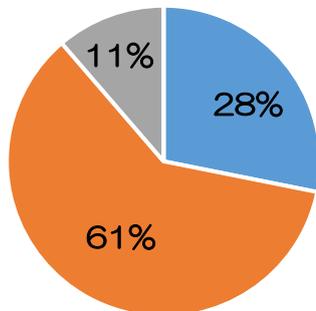


- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

肯定的な評価は95.8%でした。保護者の方が教職員に対して高い信頼を寄せており、また、コミュニケーションが円滑に行われていることを示していると考えます。

このような信頼関係は、学校教育や家庭教育における問題の早期発見や解決に不可欠な基盤ですので、引き続き信頼される職員集団を目指し、学校教育活動についての情報共有や保護者の方との連携強化に努めてまいります。

⑥ 子どもさんが学習や運動に粘り強く取り組めるような環境が整えられていると感じますか。



- 達成している (そう思う)
- おおむね達成している (だいたいそう思う)
- あまり達成していない (あまりそう思わない)
- 改善を要する (そう思わない)

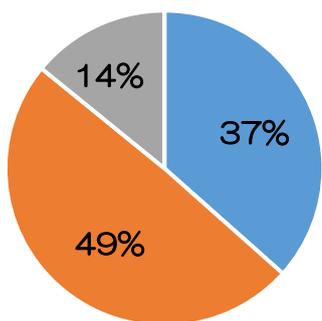
肯定的な評価は88.8%でした。多くの保護者の方が、学校が子どもたちの粘り強さを育む環境を提供していると感じていらっしゃると思います。

ただし「達成している」の割合が他の高評価項目に比べてやや低い傾向となっています。

子どもたちが粘り強く学習や運動に取り組むためには、動機づけや励まし、そして振り返り(評価)が大切です。

さらなる学習意欲の向上や個別サポートの充実を図っていきたいと考えます。

⑦ 子どもさんが進んで体を動かしたり健康に意識して生活したりできるように配慮されていると感じますか。

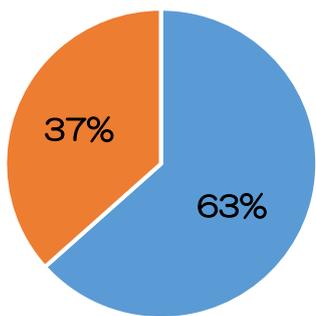


- 達成している（そう思う）
- おおむね達成している（だいたいそう思う）
- あまり達成していない（あまりそう思わない）
- 改善を要する（そう思わない）

肯定的な評価は85.9%でしたが、「あまり達成していない」が14.1%存在しています。全体としては高く評価されているものの、他の項目と比較すると否定的な回答の割合がやや高いです。

本校は人数の割に校庭や体育館が広く、子どもたちは恵まれた環境の中で体を動かしています。そんな環境の活用の仕方や体育活動の充実、健康指導の機会や内容について、今後も検討していきます。

⑧ 子どもさんの成長に、地域の方々のかかわりが生かされていると感じますか。（ゆめの森の学習、大豆・豆腐作り、地域探検、しいたけ栽培、米作り、コカリナ等から）



- 達成している（そう思う）
- おおむね達成している（だいたいそう思う）
- あまり達成していない（あまりそう思わない）
- 改善を要する（そう思わない）

肯定的な評価が100%で、昨年度より高い評価をいただきました。

地域のひと・もの・ことに関わるふるさと学習が、子どもの成長に良い影響を与えていると、多くの保護者の方が認識されています。

塩田西小学校の特徴である地域素材をいかした学習を、子どもの想いから出発する探究的な学習となるよう意識しながら、今後も進めていきたいと思いをします。

⑨ 子どもたちのよい姿やさらに進めたい教育活動についてお書き下さい。

児童の主体性や自発的な学び（6年生が下級生を牽引して行事を企画・運営している姿や、児童手作りの記念式典、「やりたい」という思いを形にした「流しそうめん」の企画など）、学年を超えた良好な人間関係（「他学年とも仲良く過ごしている」「学年問わず交友関係が広がっている」など）、そして畑作業や調理活動などの体験学習が高く評価されました。小規模校ならではの良さとして、温かい雰囲気の中で学校生活を過ごさせていること、また、一人ひとりの主体性が育まれている等のご意見もいただきました。

今後も子どもたちが企画運営する行事や活動の場を広げ、「やってみたい」を自分たちの力で実現する主体的な子どもの姿を一層めざし、取り組んでまいります。

⑩ その他

（参観日のご感想や、学校全体についてお気づきのことがありましたらお書きください。）

全体として、学校運営、特に児童が主体となった30周年記念行事を高く評価していただきました。（「ずっと西塩田に住んでいても知らないこともたくさんあって楽しかったです」「子どもたちの自分たちで考え、自分たちで進めていく姿にとっても感動しました」「児童会が主となつての30周年記念の

式典は、本当に楽しかったです！」「こんなに活気ある式典は初めてでした」など)

また、校長をはじめとする教職員の児童と向き合う温かい姿勢（「毎朝のように校長先生が登校を見守ってくれているのがありがたい」「先生方にはいつも子どもと同じ目線に立って寄り添っていただきありがとうございます」「先生たちも温かい眼差しで子供たちを見守ってくださっていて、本当に良い学校だなあと感じております」など）、そして、学校全体の良好な雰囲気についてのコメント（「行事の都度、校内の雰囲気が元気で素直で、実に小学生らしいなあと感じています」など）が多く寄せられました。

一方で、いくつかの課題と改善提案も提起されました。具体的には、授業参観の対象教科の多様化（「図工や体育などの創作・活動分野での授業も参観してみたいです」など）や、学校生活の様子がわかる写真の販売、自主学習の内容やクラス全体の学力傾向に関する定期的なフィードバックの要望が挙げられました。さらに、通学路における熊の出没リスクという、安全上の懸念についてのご意見もいただきました。

これらのご意見は、学校の強みを維持しつつ、教育活動と安全管理の質をさらに向上させるための貴重な示唆を含んでいると思われるので、引き続き教育委員会と連携しながら校内で検討を重ね、安全・安心な学校を目指して努力してまいります。